

結果と反省点

●第5回へたくそソフトボール大会(HST)結果

2009年11月8日

・第1試合A(8:46~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: Triam Pat
ラビッツ	3	7	5	5				20	
ニョッキーズ	0	5	6	2				13	

・第1試合B(8:49~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: CATS&DOGS
四十路	2	3	0	0	1	4		10	
KB	0	0	2	0	0	2		4	

・第2試合A(9:50~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: ニョッキーズ
イーグルス	0	0	0	0				0	
Triam Pat	1	1	5	3				10	

・第2試合B(9:50~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: KB
CATS&DOGS	0	0	0	2	0			2	
バーディーズ	6	0	2	6	×			14	

・第3試合A(10:55~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: イーグルス
Triam Pat	2	0	3	0	1			6	
ラビッツ	0	5	0	0	2×			7	

・第3試合B(10:55~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: CATS&DOGS
バーディーズ	0	0	0	1				1	
四十路	5	3	15	2				25	

・第4試合A(12:30~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: ラビッツ
イーグルス	1	0	1	5	1			8	
ニョッキーズ	2	5	0	1	1×			9	

・第4試合B(12:28~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: 四十路
CATS&DOGS	1	0	0	1				2	
KB	6	5	0	4				15	

・第5試合A(決勝戦)(13:35~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: ニョッキーズ
四十路	1	1	1	0	1			4	
ラビッツ	0	0	2	0	0			2	

・第5試合B(3位決定戦)(13:37~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: KB
バーディーズ	1	9	0	0				10	
Triam Pat	1	1	0	2				4	

・第6試合A(第5位決定戦)(14:36~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: 四十路
KB	1	0	1	2	3	0		7	
ニョッキーズ	2	0	0	0	4	2×		8	

・第6試合B(第7位決定戦)(14:40~)

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	合計	審・記: バーディーズ
イーグルス	0	0	3	0	0			3	
CATS&DOGS	2	0	1	2	2			7	

結果と反省点

【優勝チーム】

四十路

【チーム順位・団体賞】

準優勝:ラビッツ

第3位(惜しかったで賞):バーディーズ

第4位:TriamPat

第5位(敗者復活賞):ニョッキーズ

第6位:KB

第7位(ブービー賞):CATS&DOGS

第8位(ブービーメーカー賞):イーグルス

【個人賞】

・MVP

・最多本塁打賞

・最優秀投手賞

・敢闘賞

PRO(四十路)

PRO(四十路) 4本

KING(四十路) 最小失点チーム(7点)

PARE(Triam Pat)

福山(KB)

【大会協賛賞】

・クラブタイランド賞

・さざえグループ賞

・あくねグループ賞

第4位チーム Triam Pat

第6位チーム KB

第8位チーム イーグルス

第2位チーム ラビッツ

第4位チーム Triam Pat

第6位チーム KB

第8位チーム イーグルス

全チームへ参加賞

(※敬称略)

結果と反省点

●大会を終えて

快晴で心地よい穏やかな風が吹くという絶好の天候にも恵まれ、第5回HSTを無事に開催することができました。

ひとえに大会に参加された約180名(応援者含む)の皆様の、ご協力によるものです。ありがとうございました。

細かな点ではまだいろいろとありますが、今までで最高にスムーズに行われた大会だったと感じています。トーナメント大会としてのHSTは、今後も続けていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

●反省点

・記録に関する問題

- ・大幅に簡略化したものの、まだ勘違いや通知内容を読んでいないと思われる対応があった。
 - ・個人のホームラン数は試合後の監督申告となっているのに、記録担当者が登録メンバー表に記録している例があった。
 - ・審判・記録の担当チームが公平にならないことは伝えてあるのに、公平になるはずと信じているかのような発言があった。
 - ・第1試合を除いて、審判・記録担当チームは、前の試合の勝ち／負けチームが担当することになっているのに、気付かずに対応が遅れた例があった。
 - ・記録の集計方法について理解されていない部分があった。

・ルールに関する問題

- ・暴投時のルールについて、正確に理解していない事例があった。
 - ・ボールデッドラインがどこなのか、理解していない例があった。
 - ・安打がボールデッドラインを越えたときにテイクワンと判定しかけた。
 - ・A面ではボールデッドラインが近すぎ、捕手への送球がわずかにそれでもボールデッドラインを越えてしまう例があった。
- ・走者に進塁の意思がない状態で、投手へボールを戻すときに暴投となった場合、テイクワン規定を採用するのかどうか明確でなかった。
- ・主審のみで判定することと、接触プレーを危険なものとしなないための「タイミングでセーフ／アウトを判定する」という意味が、明確になっていなくて混乱を招いた例があった。
- ・怪我防止のために、止まり切れずにベースから飛び出したような場合はタッチされてもアウトにしない(1m以内の飛び出しはOK)というルールの趣旨が、正しく理解されていない例があった。
- ・45分過ぎて次の回へ入らないというルールはあったが、45分過ぎた時点で裏の攻撃中で、後攻側がリードしている展開で試合を終了させるのかどうかの規定がなかった。

・運営に関する問題

- ・忘れ物があった。(青いベルト)
- ・記念撮影で時間をかけないようにカメラの台数を制限していただくようお願いしてあったが、今までと同様に多数のカメラで撮影するという状態になった。

・良かったと思われる事例

- ・ルールを理解していない選手が三塁をオーバーランしてタッチされたとき、審判がセーフの判定をしたこと。
 - 素人にも優しい大会の趣旨からして、良い判断だったと思います。
- ・走者に進塁の意図がない状態で、投手への返球が暴投となってボールデッドラインを越えたとき、審判がテイクワンベースとしなない判定をしたこと。
 - ルールには定めていなかったのですが、大会の趣旨に合致した判断だと思います。
- ・第6試合後の後片付けが、協力し合ってスムーズに終わったこと。